

# Cisco 音声ポータル ( CVP ) は ( OAMP ) オペレーション コンソール装置状態を操作したり、管理したり、維持したり、提供します

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[コール サーバ デバイス](#)

[レポート サーバー](#)

[スタンドアロン VXML サーバ及び VXML](#)

## 概要

この資料は条件を記述したものですさまざまな装置状態を CVP オペレーション コンソールで表示します。

ランディ元ウーによって貢献される、Cisco TAC エンジニア。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- CVP Server
- CVP レポート サーバ
- CVP OAMP

### 使用するコンポーネント

この資料に記載されている情報は、特定のソフトウェアまたはハードウェア バージョンを対象としたものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

# サーバ デバイスを呼出して下さい

**到達不能-** コンポーネント Intellegent 設定された連絡先マネージャの少なくとも 1 つは到達不能であると、( コール サーバのための ICM ) Interactive Voice Response ( IVR ) およびセッション Intiation プロトコル ( SIP ) 考えられます。

設定されたコンポーネントは到達不能ある特定の状態があるときであると考えられます::

- OAMP はコール サーバと同じ場所に配置される OAMP リソースマネージャ ( ORM ) と通信することができません ( たとえば、ORM はダウンしています )。
- コール サーバの ORM はコンポーネントのためのコントローラから状態イベントを受け取りませんでした。 3 つすべて ICM、IVR および SIP サブシステムを設定したと仮定して下さい。 IVR および SIP が IN\_SERVICE であるが、ORM に ICM subsystem のステータスをどういうわけか報告しないことを Central Controller が報告すると仮定して下さい。 この場合、ORM は到達不能ように ICM に OAMP のステータスを報告します。 この場合 OAMP は装置状態で着くためにデバイスのさまざまなコンポーネントのステータスを集約します。 コンポーネントの 2 つが ( IVR および SIP ) 稼働中 ICM である到達不能であるが、ことがわかります。 つまり OAMP は到達不能ように IVR および SIP が実際に稼働中であるのにコール サーバのステータスを表示します。
- ORM はコール サーバと ( 通信することがたとえばコール サーバ ダウンしています ) できません従って ORM は Central Controller からの受け入れ国イベントではないです。

**DOWN -** コール サーバのための設定されたコンポーネント ( ICM/IVR/SIP ) の少なくとも 1 つは停止されるとして考えられます ( または無効にされる )。 ( 設定されたサブシステムの 1 つが、ICM ) それから停止すれば言えば到達不能 ケースに類似した、OAMP は停止されるようにそのコール サーバのための他の設定されたコンポーネントが IN\_SERVICE でもコール サーバを示します。

**部分的-** コール サーバのための設定されたコンポーネント ( ICM/IVR/SIP ) の少なくとも 1 つは PARTIAL\_SERVICE として考えられます。 コンポーネントは部分的なサービスに DOWN 到達不能アップしない場合です。 たとえば、Central Controller によって報告されるようにコンポーネントの状態がそして停止したりまたは PARTIAL\_SERVICE OAMP は到達不能ようにそのコンポーネントを示します。 1 コンポーネントが部分的なサービスにそしてあっても上の 2 つのケースに類似した、OAMP は部分的ように他のコンポーネントが稼働中であるかもしれないのにそのコール サーバのステータスを表示します。

**の上-**すべての設定されたコール サーバ、ICM、IVR および SIP サブシステムは Central Controller から届く状態イベントによって示されるように 3 つの状態の 1 つにあります; IN\_SERVICE、IN\_SERVICE\_WARNING または IN\_SERVICE\_CRITICAL。

**注:** OAMP は Central Controller からコール サーバのステータスの到着のために展開されたコール サーバで H232 があれば H323 のステータスを、ステータス無視されますそう受け取りません。

## レポート サーバー

レポート サーバーの状態はコール サーバと同じ場所に配置され、レポート サーバーに接続される ORM から得られます。従って callserver1 および reporting1 が 2 台の異なるマシンなら両方とも報告サーバのステータスを調べるためにそれらで動作するこれが Central Controller が報告サーバのステータスを報告するところであるので ORM があれば OAMP は callserver1 の ORM に話し。

**UNREACHBLE** - レポート サーバーは到達不能ある特定の状態が発生するときであると考えられます:

- OAMP はコール サーバと同じ場所に配置される ORM に話すことができません (たとえば、ORM はダウンしています)
- コール サーバの ORM はレポート サブシステムのためのコントローラから状態イベントを受け取りませんでした

レポート サーバーが作動中である時でさえ; レポート サーバーの ORM は作動中です; OAMP はまだ到達不能ようにレポート サーバーのステータスを表示します。レポート サーバーの ORM が動作する OAMP が到達不能ようにステータスを表示すれば場合レポート サーバーを設定できる。これは直感に反しますが、それは意味するものです: レポート サーバーはステータスを取出すために OAMP に到達不能です。

- ORM はレポート サーバーに (話すことがたとえばレポート サーバー ダウンしています) できません従ってそれは Central Controller からの受け入れ国イベントではありません。

**DOWN** - レポート サブシステムが (コール サーバ マシンの Central Controller によって報告されるように停止されるか、または) 無効にされるとして考えられれば。

**部分的-レポート サブシステムが DOWN 到達不能アップしなければ。**

**の上-レポート サブシステムがコール サーバ マシンの Central Controller によって報告されるように IN\_SERVICE または IN\_SERVICE\_WARNING または IN\_SERVICE\_CRITICAL なら。**

## スタンドアロン VXML サーバ及び VXML

正常な VXML サーバの場合には、OAMP は VXML サブシステムが接続されるバイパスし、VXML サーバと同じ場所に配置される ORM と直接通信します callserver の ORM を。原因は少なくとも 1 つのコールが VXML サーバ (停止されるようにステータスを表示します) によって送信される場合コール servre マシンの Central Controller を通して得られるステータスが不正確であることです。従って VXML サーバのステータスはレポート サーバーのためにそれより別の方法で得られます。スタンドアロン VXM 配備では、OAMP は VXML サーバと配列される ORM と直接通信します。いずれの場合も、ステータスはまたアクティブ コールの数を与える Audim スクリプト (ステータス) の 1 つの実行によって得られます。

**の上- ORM は (アクティブ コールの数のためステータス スクリプトを実行した後 0) でも有効な番号を受け取ります**

**到達不能- ORM はステータス スクリプトを実行した後アクティブ コールのための有効な番号を受け取りません**

VXML サーバのための DOWN または部分的な状態は OAMP によって示されているようにありません。

